

里山倶楽部活動状況

無風好天の下、布マルチ敷設作業

5月23日(土) 9時から野田芳宏さんの布マルチ田んぼ(掛川市初馬地区)の隣を借り布マルチを敷きました。

布マルチ稲作は俗に「お布団農法」とも呼ばれ、2枚の綿布の間に籾をはさみ、ロール状にしたものを田んぼに敷いていく直播タイプ稲作です。

この農法は我が「学園花の村」の理論的指導者津野幸人先生の考案された農法です。ロールを敷いたあとに水を注ぎ込む。綿製の布は双葉の雑草は抑えることができますがヒエなどの単葉性の雑草はこのマルチを突き破って出てきます。

そのためマルチを水に浮かばせて2週間ほど経過して水を一齐に抜き、生えてきたヒエをマルチの重みで潰しヒエの成長を抑えるという戦法。その後は間断的に水を切り、

根が奥深く張るようにして倒伏を防ぐようにします。この農法は水管理がポイントです。

里山倶楽部としては初めての試

みですが最近WHO(世界保健機構)が除草剤に使われているラウンドアップが発癌性を有するとの見解が出され、除草剤を使わない米作り

に大きな関心が高まっています。当日は作業者6名に加え外野の応援団が前田さんをはじめ10名ほどにふくらみ梅ジュースやおやつ



また野田芳宏さんも指導に駆けつけてくれました。溝口会長のお

孫さんララちゃんが田んぼのぬかるみを裸足で歩きその感触を楽しんでいました。



昨年は手植えでしたのでほぼ同じような陣容で1日かかりましたが今年午前中で終わりました。省力的な農法です。

ミニトマトハウス作り

23日の午後からは池上さんの指導で「倉馬の里」にミニトマトハウスをつくりました。不要のパ

イプを活用しハウス作りをしました。トマトは雨を嫌うので雨よけのためビニールシートを組み立

てたパイプの上にかぶせる作業をしましたがこれが結構ハードな作業でした。その次はトマトの棚作りで約40本ほどのミニトマトを植えました。大先輩の小関栄さんの午前午後通しての活躍が印象的でした。

作業後は「温泉チョイ飲みコース」で充実した一日を過ごした有志もいました。(藤本記)

